

に い が た る う し き よ う NEWS

■2014年度新潟県老人福祉施設協議会新役員の紹介

巻頭シリーズ・元気な笑顔が素敵！iすまいる介護ウーマン

すまいるウーマン 松井由理さん

○所属 つむぎデイサービスセンター
○経歴 1979年3月生まれ 南魚沼市出身。八海高校普通科卒業後、道路サービス会社でライン引きの現場を経て結婚。出産後、介護福祉士の資格を取得し、平成16年、オープンしたつむぎに就職。
○趣味 ソフトバレー(中学からバレー部)

話を聞くことで、いろいろな気づきがよく見えることで、いろいろな気づきが生まれる。

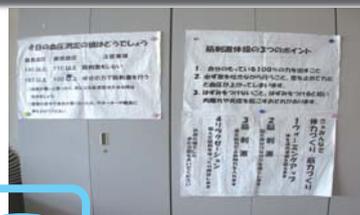
同じ利用者でも家とデイでは顔が違います。



1 スタッフは21名。訪問した翌週が運動会だったので、広い室内いっぱい、満艦飾の万国旗。チームごとの替え歌で応援練習の真最中だった。



2 「厳しいおばあちゃんに『こんなこともできないの』と怒られていたのが、やり方をちゃんと聞いて確実に実行したら真面目だと気に入られたり。面白いですね」



3 施設のモットーは地域とのつながり。住民が自由に出入りでき、納涼祭など地域とのイベントの他、南魚沼市の委託で「はつらつハビリ」というリハビリ教室も。



つむぎデイサービスセンター

○運営 社会福祉法人 南魚沼福祉会
○デイサービスセンター 定員35名
ホームヘルプセンター
ケアマネージメントセンター
○新潟県南魚沼市五郎丸5-1
TEL025-782-5522

お前さんが来てくれるとうれしいよ

■就職の理由 出産して子供が二歳くらいの時、義母から『再就職するなら、ヘルパーはどう?』と言われて。昔からお年寄りが好きだし、体を動かすことも好きだから、やってみようかと思いました。たまたま職安でこの施設がオープンすることを知って応募しました。

■仕事のポイント 始めは訪問介護の部署でした。勉強しただけでは現場は務まりませんでしたね。たとえばオムツのあて方でも、何が正しいかわからない。訪問先から戻って、先輩に教えてもらう毎日でした。いつも必死。それでも、最初は口も聞いてもらえなかった方が、訪問回数を追うことに孫のように思ってもらって、『お前さんが来てくれるとうれしいよ』と。自信につながった思い出です。

■デイサービスのお仕事 デイサービスと訪問介護は内容がだいぶ違うので、異動してからも必死です。施設は自分の家ではないので、他人の目を気にされる方も多い。一方、デイは一人の仕事じゃないので、看護師さんや同僚に相談できるのが違いますね。もともと人間観察が好きなので、利用者さんの行動を見て、話を聞いて、理解するようにしています。皆さん、人生を積み重ねて来られていますから、お話を聞くことで、自分にプラスになります。

■今後の自分 これからは公私ともたいへんな時期です。自分の親世代を介護することになりますから。あらためて勉強をやり直したいと考えています。

法人化十周年を迎えて

会長 市井栄吉



会員事業所の皆様、お元気で日常業務に専念されておられることと思います。また日頃から会の事業にご参画・ご協力いただき、この場を借りてお礼を申し上げます。おかげさまで今年は、社団法人として十年の節目を迎えることが出来ました。九月に予定している研究大会では、特別なことは出来ませんが「記念大会」と銘打っての講演を計画しています。

五月二十七日には、管理者研修会と決算総会を開催し、新体制の基で何とか無事に二十五年度の事業を成し遂げたことを認めていただきました。今年は二十七年度の介護保険制度改正、報酬改

定を控え各事業所は勿論、県老施協にとっても大事な年であると考えています。既に改正の骨格は決定していますが、報酬改定の行方は大変気になるところです。制度改正でも特養入居者の原則要介護三以上限定は、福祉的観点から様々なケースに接してきた我々にとっては、考えるところの多い改正です。

また通所介護でも機能分化の明確化や、小規模型の再編などの対応を迫られることになります。利用者負担の一部引き上げも、制度の持続性という点からは避けて通れないにしても、厳しい改正という印象です。今後も、制度改正等については、全国老施協とも連携して情報を発信していきたいと考えています。

介護保険制度は課題も多く、三年ごとの改正では間に合わないような状況です。そのような中で、我々事業者は高齢者の生活の質を少しでも上げようと一生懸命努力しています。その点においては、養護老人ホーム、ケアハウス等も同様です。県老施協としても、法人化十周年を節目に、より一層事業の充実を図り、少しでも会員事業所の皆様のお役に立てればと考えていますので、よろしく願い致します。

新役員紹介

副会長に就任して

副会長 加藤一英



故吉澤副会長のご冥福を心よりお祈り申し上げます。彼の功績は誠に偉大でありました。その後任という大役を仰せつかり、とても重責を感じております。

理事の皆様方のご指導のもと、高橋副会長と共に市井会長を補佐し、会員施設・事業所の皆様方が日頃悩んでおられる諸問題の解決、介護保険制度最新情報や動向を分析してのご提供、災害予防並びに対応策の情報発信、各種事業の企画等、県老施協に加入して良かったと言っていただけのように益々強力な組織となるよう、微力ではございますが誠心誠意お手伝いさせていただき覚悟でございますので、今後ともご高配を賜りますようお願い申し上げます。

業務執行理事に就任して

理事 市川宏昭



このたび理事に就任させていただきました。昨今の介護保険制度や社会状況が目まぐるしく変化する中で新潟県老施協理事という大役を担うことになり、身の引き締まる思いです。

私自身、まだまだ未熟で不慣れな部分もたくさんありますが、市井会長のもとこの責任の重さを自覚し、皆様からのご指導ご鞭撻を頂きながら微力ではありますが一意専心努力させていただきたいと思っておりますのでお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

業務執行理事に就任して

理事 中島吉治



このたび、かんばらの里の佐藤理事の後任として理事に就任することになりました。責任の重大さに身の引き締まる思いをしております。

微力ではありますが、前任者である佐藤理事の功績を受け継ぎ、福祉サービスを必要としている地域の方々に、良質なサービスの提供を心がけ、日々悪戦苦闘している会員の皆様からのご意見やご要望を共有し、ご期待に沿えるよう精一杯努力して参ります。

会員の皆様からのあたたかいご理解、ご協力をお願いします。

業務執行理事に就任して

理事 横山 稔



このたび理事に就任することとなりました。私、若輩者であり、第6期計画の前年という厳しい時期ではありますが、老施協の一員として一步一步頑張っていきます。

この世界に関わりを持ってちょうど30年。介護職員から相談員（当時は指導員）、そして現在に至っておりますが、“ご利用者の笑顔と一緒に”という信念だけは忘れずに仕事をさせていただいております。私のモットーでもある“和顔愛語”の気持ちを忘れずに、何事も挑戦していきますのでよろしくお願い申し上げます。

業務執行理事に就任して

理事 松矢光一



5月1日午前5時09分私どもの大切な仲間であり、又全国老人福祉における貴重な見識を持っておられた「よねやまの里」施設長の吉澤善明氏が急逝され、その代役を命じられ大変困惑しております。

吉澤善明氏の代役といっても彼には及ぶべくもありませんが、県老施協会員皆様に少しでもお役に立てるべく、会員皆様のご指導を頂きつつ、様々な諸問題に取り組んで行きたいと思っております。

セミナー写真アルバム

4月10日～来年2月まで計6回 介護力向上講習会

この講習会は、介護保険制度の基本理念の一つである「自立支援」を実現するための科学的介護実践講座として全国老協が平成16年度から取り組んでいるもので、今年度は本会が全国老協と共催で【新潟分校】を開設・運営することになりました。

初日は、日本自立支援介護学会会長で自立支援介護のパイオニアとして活躍されている国際医療福祉大学大学院教授 竹内孝仁氏を主任講師にお招きして、科学的介護、自立支援介護の概論について勉強しました。

今回の新潟分校参加施設は21施設、参加人員は24人となっております。



講義で挨拶される竹内教授(左)と、副講師で(株)サンケイビルウェルケア事業統括部課長根岸広英氏(右)

▶竹内教授の乾杯で、1施設でも「おむつゼロ」を達成することを誓い、乾杯しました。



新潟県主任介護支援専門員研修

今年も定員90人のところ172人の申し込みがあり、最後は抽選という狭き門になりました。現在のカリキュラムは11日間・64時間以上となっております。今後は時間数の増加、更新研修、修了評価などが検討され益々ハードな研修になる見込みです。まさに、地域包括ケアシステムの推進主体として介護支援専門員に対する期待と責任が大きくなります。

今回は、昨年修了された中からお二人にご登場いただき、現在、或いはこれから受講される皆様へメッセージを送っていただきました。



演習の様子です。

研修終了後が始まり

昨年、研修を受講させていただきました。研修を思い返すと3カ月という長期間、体調を保ってきちんと最後まで受講しなくてはならないプレッシャーと、11日間の研修課程の1日、1日、次はどのような内容なのか見えない先への不安と、研修中は何事も起こらないように祈りながら、職場業務との両立も戦いでした。しかし、その戦いの中で強い味方となったのは同じ受講生の仲間です。皆が同じ条件で同じ思いで受講している訳なので、共感できる善き仲間、戦友みたいなものです。修了後の今も、何かしらお会いしたり、相談し合ったり、助け合える存在です。研修は沢山の知識と技術を講義や演習で楽しく身に付けられますが、それを地域で実践していかななくては意味がないので、研修終了後が始まりです。それを活かすには、同じ研修で学んだ仲間の存在は本当に大きいです。

研修に際して無事に修了できるまで支えて下さる講師の皆様と事務局の長期間に亘るご配慮を本当に感謝いたします。

最後に、忙しい中、時間を割いてくださった講師の皆様、有難うございました。

在宅介護支援センターあしぬま荘
ケアマネージャー

今井 正人



地域全体を把握

施設ケアマネとして勤務するなかで、多職種との連携が上手く図れず、支援者として力不足を感じていました。そのなかで研修に参加することができ、自分自身、他職種の課題に対する意見や思いを聞き取る力が足りなかったということに気づきました。

問題を把握し、気づきを得ることで課題を導き出すことができ、方向性を導き出すことができれば連携が図れ、より良いケアに繋がるということに改めて実感しました。

この4月より居宅介護支援事業所に異動となり勤務していますが、地域全体を把握し、情報や知識を得て、包括的、継続的な支援を行うと共に、気づきを得ることができる支援者であるよう、ケアマネジメント力の向上に努めていきたいと思っています。

日々、多忙な業務の中での研修は大変ですが、これから受講される方々も、是非「おみやげ」を持って帰って欲しいです。

五泉中央サポートセンター
ケアマネージャー

山崎 智美



平成26年5月27日(火)

管理者研修会

今回は、平成27年4月からの介護保険法改正・報酬改定に的を絞り、全国老
施協の榊田介護保険事業等経営委員長にご講演をお願いしました。榊田委員長
は、先般急逝された本会吉澤副会長(当時)の追悼講演と位置付け、吉澤氏を、共
に制度改革・報酬改定で戦った戦友と称えられました。



法改正や報酬改定は最も関心の高い事柄の一つだけに、
当日は介護事業所の施設長を中心に約200人の経営幹
部が参加され、真剣に講演に聞き入っていました。来年の
改正法施行までの間に運用検討を含めて再度研修会を
実施する予定です。



🌻 吉澤善明さんを悼む 🌻

新潟県老人福祉施設協議会副会長吉澤善明さんが52歳の若さで
亡くなられた。平成26年5月1日午前5時9分のことである。朝出
勤してよねやまの里から電話をいただいた。涙があふれ、朝礼で職
員に話をしながら胸がつまった。親しい友人と3人で顔を見に行っ
た。吉澤さんと声をかけても応えはなかった。安らかな顔をしてい
た。県老施協、全国老施協を通じ長年にわたって高齢者福祉の発展
に尽力された。特に制度政策について明るく、豊富な見識をもって
改革の最前線で戦ってきた。悔いていることがある。4月1日、法人
内異動の挨拶に行くと、声が出なくなっていた。人一倍しゃべる人
が不便だな、と冗談を言ったこと、である。ある時、見舞に行くと、食
べ物の味が分からなくなったというので、私が尊崇する安藤百福が
創始者である日新食品 UFO を持参した。後日、焼きそば UFO は奥さ
んが食し、自分はペヤングと一緒に食べた、ありがとうとメールが
来た。そんな仲だった。膨大なメールのやり取りは4月16日が最後
になった。生活指導員時代から30年余りの付き合いだった。ありが
とう。

ご冥福をお祈りする。



特別養護老人ホーム
いなほ園 園長
中里 雅之

共に歩み、共に成長する

特別養護老人ホームなごみ荘園長
佐藤ゆきえさん

●施設長リレーコラム●



「ゆったり・のんびり・心豊かにその人らしい生活」そして「探しませんか、小さな楽しみ。見つけませんか、私の生きがい」とキャッチコピーを掲げて、なごみ荘のサービスをご利用頂く方々の自立支援に職員全員で取り組んでいます。

平成15年5月、柏崎市内を横断する国道8号線沿いに建てられ、10年の歳月が経ちました。今では地域に「なごみ橋」という橋が架けられ、福祉ニーズの橋渡しが少しずつ担えるようになってきたのかなとうれしく思っています。

サービスの質の向上が求められる中、職員の充足が図れず「やさしくご利用者に接したいのに心が折れてしまいそうです。」と介護職員の悲痛な声をたくさん耳にする時期がありました。そんな時、【素直な心・やさしさ】を気付かせ、職員の固まった気持ちを和らげリセットしてくれたのが、なごみ荘で働く4人の障害を持った職員の存在でした。彼らは障害を持ちながらも一歩ずつ

ゆっくりと、個性を發揮しながら毎日仕事に励んでいます。ご利用者との関わり方に、少し戸惑いながらも、今では「よーく頑張っているね、ご苦労様。」と職員は勿論、ご利用者から声をかけて頂けるようになりました。

ご利用者の生活支援を支えるすべての職員が、働き続けられる優しい職場環境を作るために『共に歩み、共に成長する』をなごみ荘が求める人材・人材育成指針として掲げています。ワークライフバランスを考えたりフレッシュ休暇や、ストレスを抱える対人援助に対し、メンタルヘルスケアを積極的に取り組み、地域にご利用者の方々に優しい笑顔をお届けできるよう、これからも努めていきたいと思えます。

追伸、現在なごみ荘は原子力災害に備えて要配慮者施設(5k圏内)として屋内退避設備工事が行われました。今後、避難体制について他機関と共に、検討していきます。



原子力防護工事の建屋で空気を清浄し、施設内に送り込む装置を2機設置。



職員の腰痛防止運動。職員へのケアにも力を入れている。



利用者さんと外食イベント。



手巻き寿司の日。



社内行事で、日帰り温泉に。



利用者さんと閻魔市へお出かけ。

事業所所在地	新潟県柏崎市原町4番23号
運営事業者	社会福祉法人 柏崎刈羽福祉事業協会
事業所の種類	特別養護老人ホーム
開設	平成15年5月
連絡先等	TEL 0257-24-4300 FAX 0257-24-4310

編集後記

約1か月遅れで今期第1号の発刊です。本部役員、ブロック部会役員に異動がありましたので、本会ホームページ等でご確認ください。セミナー紹介では、本会で主催(全国老施協と共催)する「介護力向上

講習会」が紙面に初登場です。申し込み施設からは特別聴講(単発の聴講)の申請が可能です。新潟県からも「おむつゼロ」施設が生まれることを期待いたします。また、管理者研修会は、5月1日に急逝された吉

澤副会長(当時)が生前に温めておられた考え方、すなわち法施行までに介護保険制度改正・報酬改定について、概論・詳細・運用検討をシリーズで研修するというのを、今回実現したいと考えております。



発行所 一般社団法人 新潟県老人福祉施設協議会
新潟県新潟市中央区上所2丁目2-2 新潟ユニゾンプラザ2F
電話 025-281-5534 発行人 市井 栄吉
にいがたろうしきょうNEWS 平成26年6月25日発行